

PATHMANAGER に VLAN 監視機能を追加

業界初、VLAN の「見える化」を実現 End to End の監視が可能に

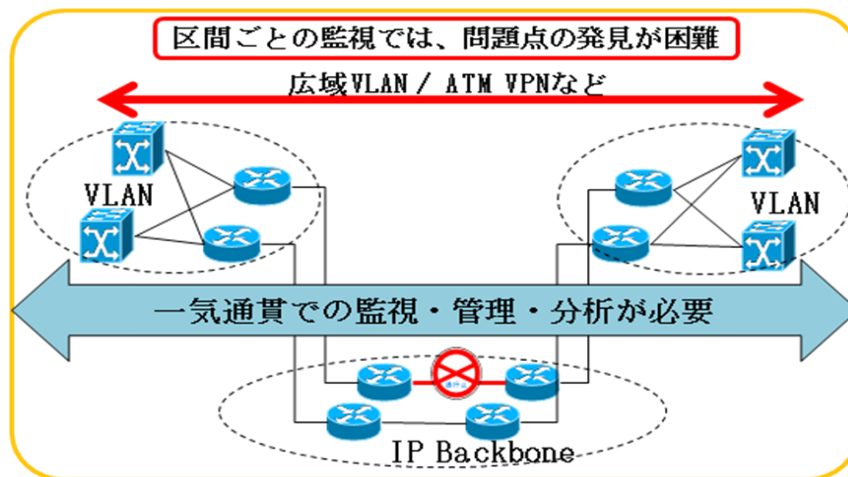
IT ホールディンググループの株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：高岡利光、以下クラウド・スコープ・テクノロジーズ）は、『**PATHMANAGER VLAN¹**モジュール』を本日より提供開始いたします。

◆PATHMANAGER VLAN モジュールの開発背景

これまで当社は MPLS²ネットワークの先進的な監視・管理機能を開発し、大手通信事業者を中心に **PATHMANAGER** を納入してきました。MPLS が採用されるコア網（通信の中核となる大容量の通信回線）の監視は大規模障害を未然に防ぐという観点で極めて重要であります。お客様に近い所まで監視することはできませんでした。

そこで当社が着目したのが、VLAN の監視・管理機能の開発です。VLAN は大手通信事業者のみならず、法人においても多く利用されており、実現すれば幅広い監視が可能になります。しかし VLAN は、個々の事業形態や機器の制約などにより、いろいろな種類の設定がなされることから「見える化」が難しく End to End での監視が難しいとされていました。

当社は **PATHMANAGER** の機能を VLAN にも適用できないか研究を重ね、このたび VLAN モジュールを開発・リリースいたしました。



図：PATHMANAGER VLAN モジュール開発のコンセプト

¹ VLAN (Virtual Local Area Network):

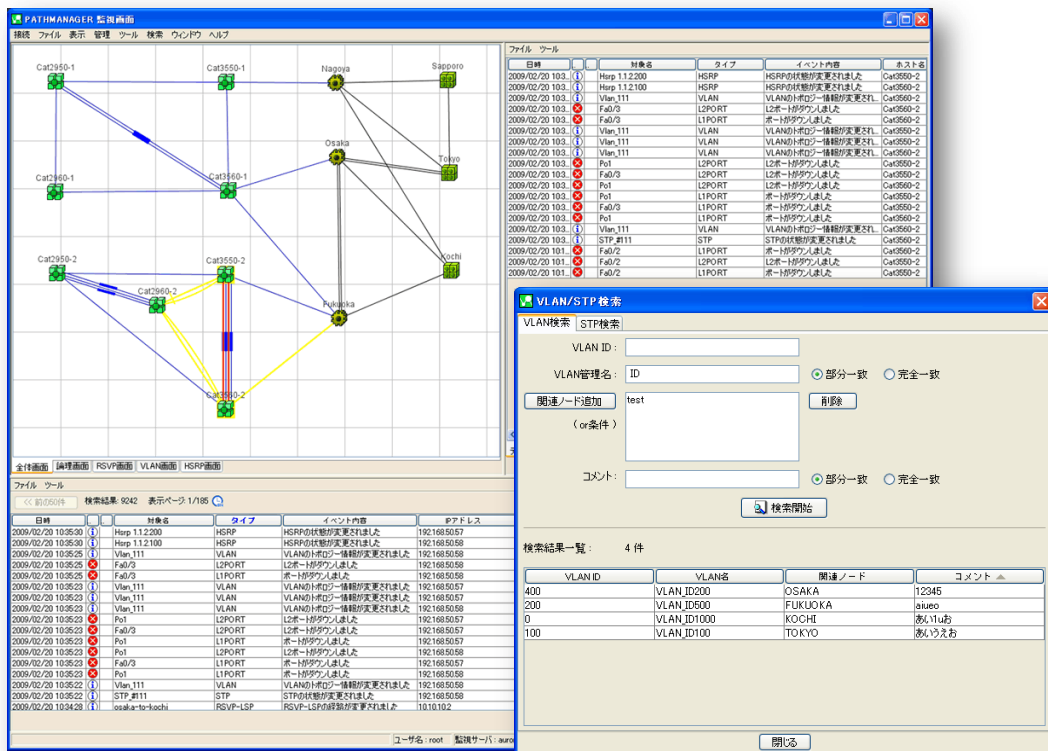
企業内ネットワーク(LAN)において、物理的な接続形態とは独立に、端末の仮想的なグループを設定することをいいます。LAN スイッチと呼ばれる機器の機能を利用して、端末の持つ MAC アドレスや IP アドレス、利用するプロトコルなどに応じてグループ化します。端末を物理的な位置を気にすることなくネットワーク構成を変更することができ、また、端末を移動しても設定を変更する必要がないというメリットがあります。

² MPLS: Multi Protocol Label Switching は、ラベルを用いて高速にパケットを転送する通信方式で、データ転送を高速・大容量化するために開発されました。

◆PATHMANAGER VLAN モジュール機能の特徴

今回開発した VLAN モジュールは以下のような特徴があります。今後、更にお客様の要望に合わせ、機能を拡充していきます。

- ① 複雑な VLAN トポロジーも自動検出
 - 物理的、論理的に接続が複雑化してしまった VLAN の接続を、自動的に見える化。検索機能により効率的な管理が可能
- ② 冗長化をサポート
 - 高度に冗長化された VLAN も、STP/RSTP の監視により動的に見える化。
 - 上流ネットワークの切り替えにも、HSRP の監視により追従して監視
 - Ether Channel をサポートし、スイッチ間的高速化・冗長化にも対応
- ③ 上流プロトコルとの連携
 - IPVPN や、MPLS RSVP-TE LSP / LDP 管理モジュールと連携が可能
- ④ 障害原因の自動特定機能
 - コリレーション機能により、複雑なネットワークの原因特定や、障害による影響範囲を自動的に特定
- ⑤ 一気通貫による迅速な障害ポイントの割り出し
 - 経路が不明になりがちな VPN も、指定した末端のポートから反対側の末端のポートまでの経路を表示、伝送路上で発生しているイベントも表示することにより、迅速な障害対応が可能



The screenshot displays the PATHMANAGER VLAN module interface. On the left, a network topology diagram shows various switches (e.g., Cat2950-1, Cat3550-1, Hsrp1, Sspn0) and their interconnections. On the right, a search results table is visible, listing events with columns for Date, Event Name, Type, Event Content, and Host Name. Below the topology, a search window titled 'VLAN/STP 検索' is open, showing search criteria and a list of 4 search results.

日時	対象名	タイプ	イベント内容	ホスト名
2009/02/20 10:30	Hsrp 1.1.2.100	HSRP	HSRPの状態が変更されました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Hsrp 1.1.2.100	HSRP	HSRPの状態が変更されました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Vlan_111	VLAN	VLANのトポロジー情報が変更されました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Fa0/3	L2PORT	L2ポートがアップしました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Fa0/3	L1PORT	ポートがアップしました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Vlan_111	VLAN	VLANのトポロジー情報が変更されました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Vlan_111	VLAN	VLANのトポロジー情報が変更されました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Fa0/3	L2PORT	L2ポートがアップしました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Fa0/3	L1PORT	ポートがアップしました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Pol	L2PORT	L2ポートがアップしました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Pol	L1PORT	ポートがアップしました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Fa0/3	L2PORT	L2ポートがアップしました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Pol	L1PORT	ポートがアップしました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Vlan_111	VLAN	VLANのトポロジー情報が変更されました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	STP_2011	STP	STPの状態が変更されました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Fa0/2	L1PORT	ポートがアップしました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Fa0/2	L2PORT	L2ポートがアップしました	Cat3550-2
2009/02/20 10:30	Fa0/2	L1PORT	ポートがアップしました	Cat3550-2

VLAN ID	VLAN名	関連ノード	コメント
400	VLAN_ID200	OSAKA	12345
200	VLAN_ID500	FUKUOKA	01234
0	VLAN_ID1000	KOCHI	87654321
100	VLAN_ID100	TOKYO	87654321

PATHMANAGER VLAN モジュールの表示画面例

◆クラウド・スコープ・テクノロジーズについて

クラウド・スコープ・テクノロジーズは、株式会社インテック・ネットコア（本社：東京都江東区、代表取締役社長：荒野高志）が開発・販売してきた次世代のネットワーク管理・監視・分析システム **PATHMANAGER** の移管を受け、2008年7月1日に創業しました。**PATHMANAGER** は、MPLS ネットワークの管理・監視システムで国内最大シェアですが、機能追加により以下の通り、新たなプロトコルへの対応を行ってきました。

基本機能 Ver.4 へのアップグレード（高速化・効率化）

MPLS RSVP-TE

IP-VPN

ATM Pseudo Wire

P2MP-MPLS (Point to Multi Point MPLS)

Provisioning

ネットワーク AB 面の関連付け監視機能

ネットワーク帯域監視機能

シミュレーション機能

各種 API

また、今後も、OSPF, LDP, VPLS, 6PE などの管理・監視機能、サーバ監視機能などのリリースを予定しております。

◆PATHMANAGER について

PATHMANAGER は、ネットワーク上の「サービス」から「ネットワークセッション、パス、回線」、そして「ネットワーク機器」に至るまで関連するネットワーク上のリソースを『見える化』し、ネットワークサービスの設計時や障害発生時に必要なネットワークリソースを視覚的にわかりやすく操作できる管理・監視・分析システムです。

- ① マルチベンダのネットワーク装置で構成されるネットワークを一元的に管理・監視・分析できる「**End to End の見える化**」を提供します。
- ② サービス、ネットワークのパスやセッション、ネットワーク装置の関連性を一元的に管理・監視・分析できる「**Top to Bottom の見える化**」を提供します。

PATHMANAGER をご利用いただくことにより、オペレーションミス、判断ミスを極力少なくし、ネットワークサービスの運用コスト削減や、ネットワークサービスの質を高く保っていただけるようになります。

本件に関するお問合せ 株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ 営業部 TEL : 03-3403-8321 E-Mail : cloud-info@cloud-scope.com Web : http://www.cloud-scope.com/
--